

はやちねさん

じせいなんげんち

早池峰山のアカエゾマツ自生南限地

◇ 指定日 昭和50年2月18日

◇ 所在地 門馬

◇ 所有者 国

アカエゾマツは、寒冷な気候を好む^{しんようじゅ}針葉樹です。現在よりも寒冷な気候であった氷河期には本州にもアカエゾマツが自生していたことが、化石資料から分かっています。

氷河期が終わり温暖な気候になったことで、アカエゾマツは数を減らし、北海道だけに自生していると考えられていました。しかし、昭和35年

(1960年)に早池峰山の北側中腹の標高1,100m付近で、アカエゾマツの群生林が確認されました。

自生するアカエゾマツは本州唯一で、国内で最も南の分布地となっています。アカエゾマツは^{らちか}裸地化した土地にいち早く根を張る^{せんくじゅしゅ}先駆樹種です。早池峰山は土砂崩れ等を繰り返しており、^{ぼじゅ}荒廃した土地に周囲の母樹から種子が運ばれ群生地を形成したと考えられています。

現在は昭和23年(1948年)のアイオン台風で崩落してできたアイオン沢付近にみられます。



(写真提供 かわい木の博物館)